

TASAKI

# 平成26年10月期 第1四半期 株主・投資家様への説明資料

株式会社TASAKI

※平成25年10月期決算より在外子会社の原価計算方法を変更  
したため前期実績の数値は各々遡及適用後の数値を記載  
しております。

Copyright © TASAKI & Co.,Ltd. All rights reserved

# TASAKI

## 連結損益計算書

当社のコア事業である国内小売事業が牽引し売上高が大幅に伸張するとともに、粗利率の改善経費の増加抑制などに努めた結果、営業利益、経常利益、当期純利益ともに、昨年より大幅に改善し、黒字転換を達成いたしました。

〔 単位：百万円 〕

	第1四半期連結会計期間(3ヶ月)			
	平成25年10月期	平成26年10月期	増減	
売上高	3,461	4,550	1,088	31.2%
(参考)国内小売売上	2,758	3,608	850	30.8%
売上総利益	2,099	2,867	767	35.3%
販売費及び一般管理費	2,437	2,578	141	6.4%
営業利益又は営業損失	△ 337	288	626	( - )
連結EBITDA	△ 214	406	620	( - )
経常利益又は経常損失	△ 270	294	564	( - )
当期純利益	△ 295	260	556	( - )

【参考】昨年度通期実績	
平成25年10月期	
売上高	16,589
(参考)国内小売売上	11,790
売上総利益	9,963
販売費及び一般管理費	9,758
営業利益又は営業損失	205
連結EBITDA	740
経常利益又は経常損失	163
当期純利益	435

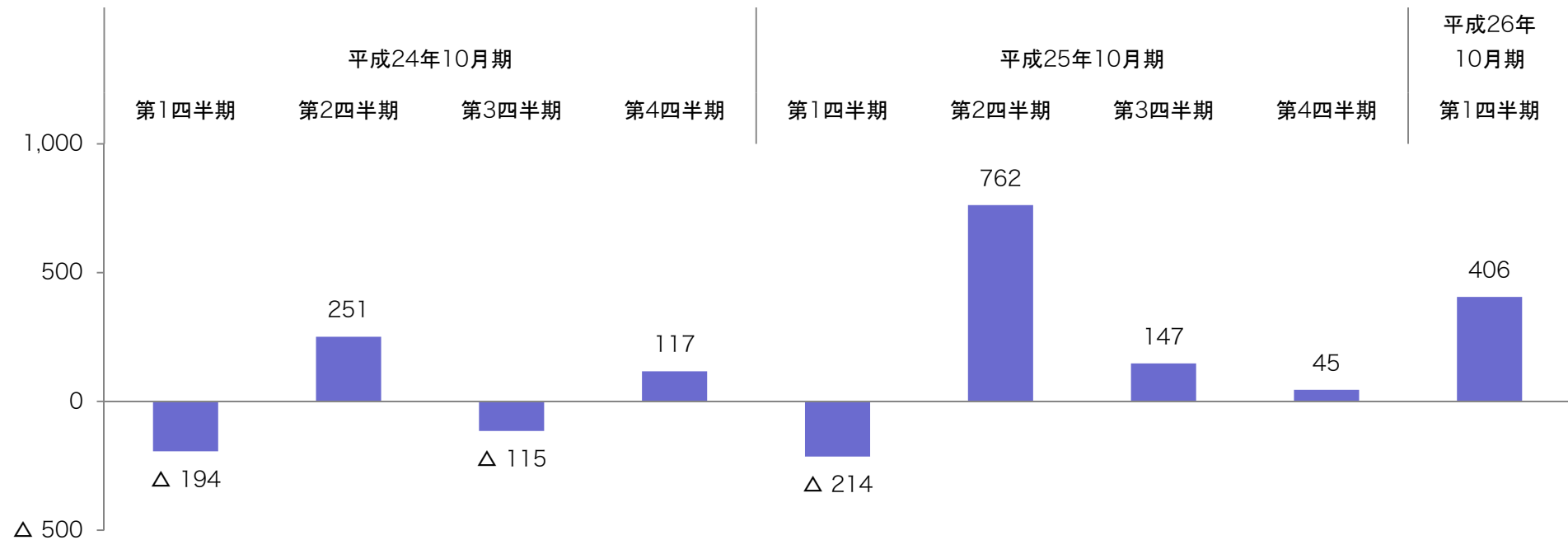
※ EBITDA=営業利益+減価償却費+その他償却費+現金流出を伴わない費用

※小売売上には、新規百貨店・セレクトショップの売上金額を含み、当該売上金額は上代金額(店頭での最終販売金額)です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

## 連結EBITDA推移

当社が指標として重要視しているEBITDA（※）は、クリスマスシーズンにむけた広告宣伝費など販売管理費の増加があったものの、国内小売事業における大幅な利益増加を背景に黒字を確保いたしました。

〔 単位：百万円 〕

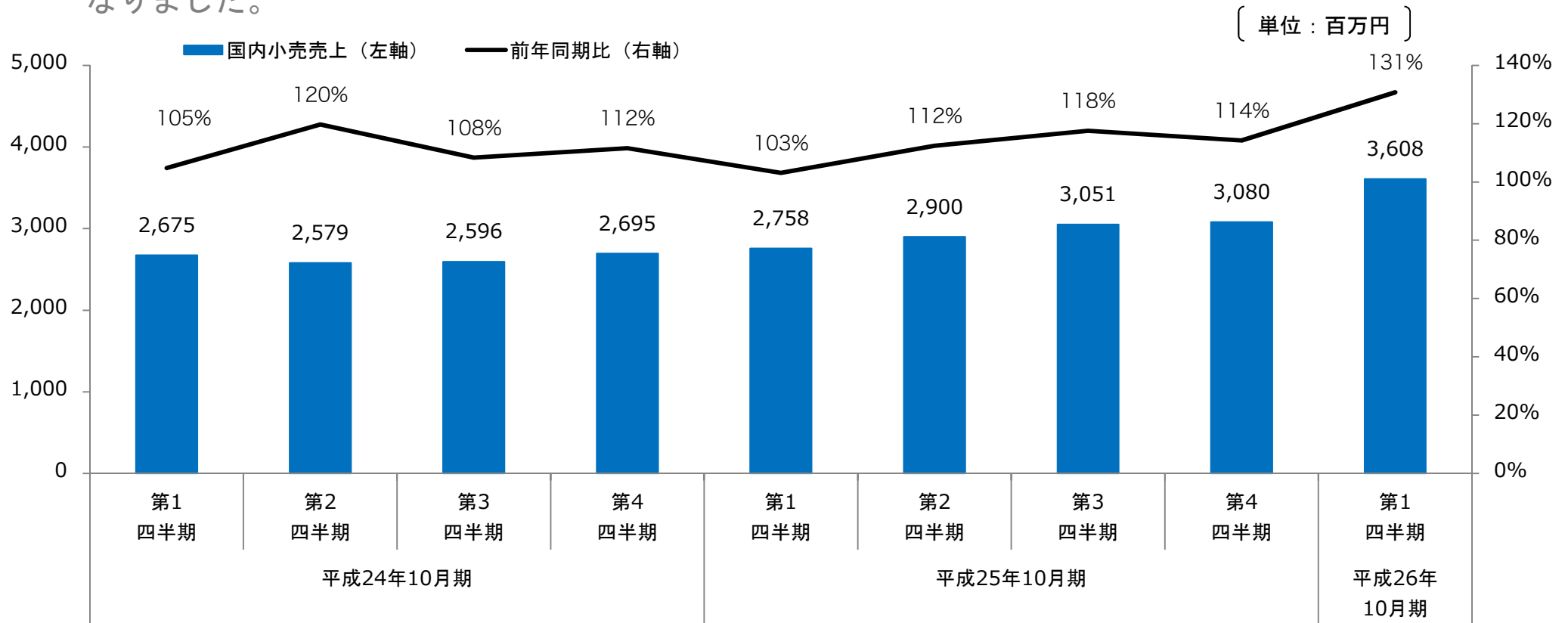


※EBITDA＝営業利益＋減価償却費＋その他償却費＋現金流出を伴わない費用

※前回掲載時には、平成24年10月期第4四半期EBITDAは在外子会社の原価計算方式変更後の遡及適用前の数値121を記載しておりました。

## 国内小売売上

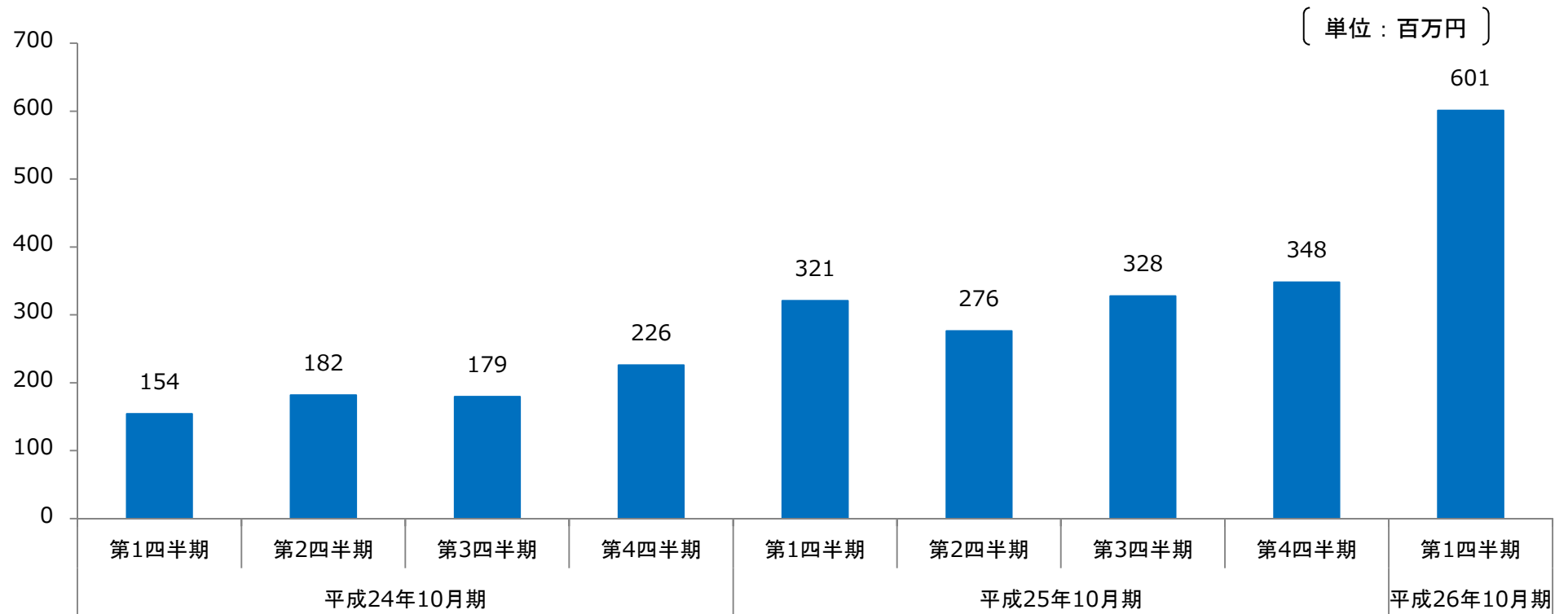
有力百貨店を中心に展開している新規店舗や、外国人観光客による売上が好調であったほか、通常の既存店売上也堅調に推移したことで、国内小売売上は前年同期比で30%を超える大幅増となりました。



※小売売上には、新規百貨店・セレクトショップの売上金額を含み、当該売上金額は上代金額（店頭での最終販売金額）です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

## 新規百貨店・セレクトショップ売上

前期に開店した三越日本橋本店、仙台三越店などの新規店舗や、銀座三越店や松屋銀座店の Concept Storeを含めクリスマス商戦が好調で、既存店においてもブライダル売上が伸長するなどした結果、新規百貨店・セレクトショップ売上は前年同期の倍近い成長を遂げました。



※ 「新規百貨店」は2009年のブランドリニューアル以降に開店した、新しいブランドフォーマットでの百貨店内店舗のことです。

※ 新規百貨店・セレクトショップの上記売上金額は上代金額（店頭での最終販売金額）です。会計上は、上記上代金額から百貨店の歩引き金額を差し引いた金額を計上しており、会計上の売上金額とは異なります。

# TASAKI

## 特記事項

- 本資料に記載されている将来の見通しに関する事項は、当社が現時点で入手可能な情報に基づき判断した予想であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により、上記見通しとは異なる場合がございます。
- 本資料は当社の企業情報の提供を目的とするものであり、当社の株式の購入、売却等、投資を勧誘するものではありません。投資に関する決定は利用者ご自身の判断において行われるようお願い致します。
- 本資料に関するお問い合わせ先  
人事総務部IR担当マネジャー 田中 雅彦 TEL：080-2461-3910